

自彊前進

題字 西村直子

NO. 41 令和5年12月22日(金)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

2023年の日常と行事

教育実習に始まり、演劇発表会、学校説明会、研究発表会、Fuchu Fes、音楽のつどい、生徒会役員選挙等、行事盛りだくさんの2学期が終わりました。各行事において多くの素敵な姿を見ることができました。いつも言われることですが、当校は日常と行事の関係性にこだわります。日常と行事は交互にやってくるものではなく、日常の中に行事があり、行事を通して身に付けた個人や集団の力を日常に還元していくことを目指しています。その意味においては、行事の力を借りて、日常生活を充実させていくというイメージです。

先日、令和6年度入学生の入学者説明会が実施されました。皆希望に満ち溢れた顔で説明を聞いていました。入学生と保護者に配付した文書に、附属新潟中学校が大切にしていることをとてもよく表している文章がありました。皆さんにも当校に入学する前に配付された文書ですので、以下に掲載します。

当校では、平成11年1月から生徒の服装を自由化しました。背景には「自ら状況や立場を自覚した上で判断、行動し、結果に対して責任をもつ姿」という崇高な理想像(生徒憲章)があり、その理想像を獲得するために、多くの時間と審議を費やしてきた歴史があります。建学以来大切にされている生徒会スローガン「自主独立・協同」にも通底する当校独自の取組の一つです。

今学期、行事では多くの素敵な姿を見ることができましたが、日常においては課題もありました。特に大学から貸与されているタブレットの扱いについては、当校の大きな課題となっています。この問題は、上述の制服の自由化の背景にある『自ら状況や立場を自覚した上で判断、行動し、結果に対して責任をもつ姿』と軌を一にする問題です。制服の自由化に向けての議論は、1年半の月日を要したようです。その間に、お試し期間を設けるなどし、『自ら状況や立場を自覚した上で判断、行動し、結果に対して責任をもつ姿』が見られたか、議論に議論を重ねたようです。

来年度附属新潟学校は150周年を迎えます。歴史の重みを感じ、伝統ある附属中学校の名に恥じぬよう、『理想像』を追い求める生徒であり続けてほしいと心から願っています。

明日からの冬休み、体調など崩さず、充実した休みにしてください。3学期元気に会いましょう！

～2学期終業式での表彰～

新大全国読書大会

- 新潟県小中学校 PTA 連合会賞
相澤 咲彩さん
- 朝日新聞新潟総局賞
長谷川 有汰さん
- 団体賞 新潟大学附属新潟中学校

中学生デザインコンテスト

- ネイルアート部門 優秀賞
若月理咲子さん
- マンガ部門 優秀賞
成澤 采良さん

未来に残そう青い海・海上保安庁

図画コンクール

- 中学生の部 新潟海上保安部長賞
池田 絢咲さん

